

課題

【国語】古典を主体的に読むことが苦手

手立て

古典を脚本化する言語活動の取組

POINT① 言語活動の見本を示し、分析させて学習の見通しをもたせる

POINT② 個々に教材を選び、学習を進めていく

POINT③ 学習で作成した表現物を共有し、古典に親しみ読みを深める

具体例

POINT① 言語活動の見本を示し、分析させて学習の見通しをもたせる

○教師が作成した見本で学習のゴールを示す

- ・古典（枕草子）の魅力を紹介し、興味をもたせる。
- ・古典（枕草子）を脚本化した見本を生徒に見せる。

○見本を分析して学習の見通しを持たせる

- ・古典がどのように書かれているのか、見本を読んで確認する。
- ・見本に書かれていることから、どのような学習をどのような順にしたらよいか考えさせる。

先生のような脚本を書いてみたいな。
どのお話（章段）で書こうかな。
たくさん読んでみよう。



POINT② 個々に教材を選び、学習を進めていく

○古典（枕草子）のどの章段で脚本を作るのか多読をして決める

- ・現代語訳の本や原文を多読しながら、気に入った章段を選ぶ。

○選んだ章段の内容を脚本にする

- ・台詞やト書きなど脚本の書き方を確認する。
- ・個々に脚本を書き進める。



POINT③ 学習で作成した表現物を共有し、古典に親しみ読みを深める

- ・個々で書き上げた脚本をグループや学級全体で交流し、古典の面白さや現代でも共感できること、脚本を書いた感想などを共有する。
（時間があれば、作成した脚本で実際に演じてみると良い。）